

## 第二回洞爺村 美味しいものコンテスト

二月三日、第二回洞爺村美味しいものコンテストが総合センターにおいて開催されました。

今年で二回目となるこのコンテストは、一昨年までは「つけものフォーラム」として開催されていましたが、つけも



たくさん「美味しいもの」が出品されたコンテスト

のだけにこだわらず、村民の手による洞爺の活性化を目的として昨年より、「美味しいものコンテスト」となりました。コンテストの優秀作品からピュアフーズとうやが実際に商品化を行い、昨年の第一回目は、鈴木るみ子さんの「しそ湖の菓」が最優秀賞に選ばれ商品化、販売されています。コンテストでは、三十五名余りの方が来場し、昨年を上回る三十二品のつけもの、お菓子などの力作が出品されました。

**冒頭**、西胆振地区農業改良普及センターの田所由理恵さんによる「未来へつなげる食と農業」をテーマとした基調講演が行われ、洞爺村の農業や安心・安全な農作物についての話しなどに耳をかたむけました。

その後、別室では菊地村長をはじめ審査員五名による審

査会が行われ、来場者の試食会も行われました。

また、審査発表は、主催者審査員、来場者参加による軽食を取りながらの座談会の中で行われました。

皆さんも、次回は洞爺の産物を活かした一品を応募されてはいかがでしょうか。

審査結果は、次のとおりです。(敬称略)

- 【最優秀賞】 大西マサ子  
「しそくるみ入味噌巻」
- 【優秀賞】 宮内八千代  
「里うに お菓子」
- 【準優秀賞】 木須ゆり子  
「大根しょうが巻酢漬」
- 【準優秀賞】 星野 光子  
「ごぼうミックス漬」
- 【残念賞】 白石美枝子  
「ビエンナーレマシユマロ」
- 【六位】 堤 敬子  
「かぼちゃゼリー」
- 和泉 和子  
「チソふりかけ」
- 宮内八千代  
「かぶの千枚漬」

## 鬼は外、福は内

### 保育所豆まき



鬼に豆を投げる保育所児。泣き出す子もいた。

二月三日、洞爺保育所で恒例の豆まきが行われました。

子どもたちは、自分で作った赤鬼や青鬼の面をつけて集合し、先生から鬼や豆まきについてのお話を聞き、豆まきの歌を元気よく歌いました。

その後、西胆振消防組合洞爺支署職員が扮する金棒を担いだ鬼が登場し、子どもたちは鬼に向かって「鬼は外、福は内」と掛け声をかけながら、豆をぶつけていました。中には泣き出す子もいましたが、勇敢に立ち向かう子の姿もあり、みんなで鬼を退治しました。

- 【九位】 石川 達子  
「赤カブの酢漬」
- 三品 優子  
「ヤーコン入りんごジャム」
- 岡野 麗子  
「きゅうりの漬け物」
- 田林 柳子  
「紫蘇の実入のり佃煮」